

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月28日

計画の名称	京都岡崎地区都市再生整備計画（第2期）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	京都市												
計画の目標	<p>京都・岡崎地域は、東山を望む素晴らしい都市景観の中に琵琶湖疏水をはじめ、美しい庭園群や文化財、美術館、博物館などの文化交流施設が集積した地域であり、文化・交流ゾーンとして年間500万人以上の方々が来訪している。</p> <p>このように、岡崎地域の持つ素晴らしいポテンシャルの更なる活用と岡崎地域で展開されつつある関連施策の融合により、地域の活性化の指針たる「岡崎地域活性化ビジョン」を策定した。</p> <p>本計画は、このビジョンを実現するための施策を行い、「優れた都市景観・環境の将来への保全継承」、「世界に冠たる文化・交流ゾーンとしての機能強化」、「更なる賑わいの創出」を図っていくことを目標とする。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,005	A	1,005	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	京都市美術館の入館者数 京都市美術館の有料入館者数と無料入館者数の合計	96万人	万人	144万人
2	京都市美術館敷地（無料ゾーン）を利用したイベント参加者数 京都市美術館敷地（無料ゾーン）を利用したイベント参加者数	1200人	人	2400人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
○番号1について 当初現況値（H28当初） 96.1万人 最終目標値（H31末） 144.1万人○番号2について 当初現況値（H28当初） 1,200人 最終目標値（H31末） 2,400人								

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	京都市	直接	京都市	—	—	都市再生整備計画事業(京都岡崎地区(第2期))	34Ha(うち京都市美術館再整備本館敷地24,331㎡)	京都市	■	■	■	■		1,005	0	策定済	
		A-1																		
													小計					1,005		
													合計						1,005	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	1	73	207		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1	73	207		
前年度からの繰越額 (d)	0	1	0		
支払済額 (e)	0	74	127		
翌年度繰越額 (f)	1	0	80		
うち未契約繰越額 (g)	1	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事入札の不調により、設計書の変更（見直し）が生じ、事業が遅延したため				

都市再生整備計画

きょうとおかざき
京都岡崎地区(第2期)
(第2回変更)

きょうとふきょうとし
京都府京都市

平成31年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	京都岡崎地区(第2期)	面積	34 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 平成 31 年度				

目標

京都・岡崎地域は、東山を望む素晴らしい都市景観の中に琵琶湖疏水をはじめ、美しい庭園群や文化財、美術館、博物館などの文化交流施設が集積した地域であり、文化・交流ゾーンとして年間500万人以上の方々が来訪している。このように、岡崎地域の持つ素晴らしいポテンシャルの更なる活用と岡崎地域で展開されつつある関連施策の融合により、地域の活性化の指針たる「岡崎地域活性化ビジョン」を策定した。本計画は、このビジョンを実現するための施策を行い、「優れた都市景観・環境の将来への保全継承」、「世界に冠たる文化・交流ゾーンとしての機能強化」、「更なる賑わいの創出」を図っていくことを目標とする。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

岡崎地域には、平安遷都1100年を記念して建設された平安神宮と、内国勲業博覧会の会場跡地に整備された文化・交流施設が集積し、京都の近代化のシンボリックな地域である。周辺には、民間の美術館・博物館、有名な寺院・神社が集積し、更に近代化を牽引したもう一つの象徴である琵琶湖疏水と疏水の水を活用した庭園群が優れた水辺の景観を醸し出している。

課題

- ・情報発信が弱く、「岡崎」の知名度が低い
- ・貴重な文化遺産の継承と活用を両立させる仕組みが不十分
- ・各施設の老朽化、機能強化への対応が必要
- ・施設間の連携の弱さ
- ・周辺地域からの人の流れや、公共交通によるアクセスが弱い
- ・優れた景観の継承と文化・交流ゾーンとしての機能強化のための都市計画のルールが必要
- ・地域に人が憩い、交流し、滞留する機能が不足
- ・夜の寂しさ
- ・環境モデル都市を牽引する進取の取組の必要性
- ・来訪者を総合的に案内する環境が不十分

将来ビジョン(中長期)

- 岡崎のエリアブランドを構築し、世界に向けて魅力・情報を発信
優れた地域資源や地域の取組をつなぎ、魅力を向上させることにより岡崎のエリアブランドを構築するとともに、積極的な情報発信などにより岡崎地域の知名度や集客力の向上を図る。
- 山紫水明の岡崎の魅力を創出する琵琶湖疏水と近代化遺産の保存と活用
琵琶湖疏水や庭園群については、文化的景観としての保全・修復を図りつつ、回遊や散策、MICE戦略への活用など、来訪者が岡崎の水辺の景観をじっくりと楽しめる環境づくりを進める。
- 文化芸術、MICE拠点としての機能強化
岡崎ならではの多彩な文化・交流機能の集積をいかし、質の高い文化芸術が創造・発信される世界に冠たる文化・交流拠点としての機能強化とMICE拠点としての機能強化を図る。
- 地域資源を結び、岡崎の総合的な魅力を高める、保全・創造の景観・まちづくり
東山を借景とした広々とした空間を持つ岡崎地域の優れた都市景観・環境の継承と、地域の魅力を高める施設の整備等を可能とする都市計画の変更をはじめ、地域資源を結び、安心・安全で魅力的な都市空間づくりに向けたエリアデザインの検討を行う。
- 多くの人々が訪れたい新たな賑わい創出
道路や公園、施設などのオープンスペースをつなぎ一体的に活用することで、市民、地域の人々、来訪者に親しまれる、歩いて楽しい岡崎地域にふさわしい憩いの空間と賑わいの創出を図る。
- 環境モデル都市を牽引する進取の取組の実践
環境負荷の低減や生態系への配慮、再生可能エネルギーの活用や緑豊かな環境の保全など、環境モデル都市を牽引する取組を実践し、広く発信していく。
- 集客・国際観光拠点としての機能強化
分かりやすい観光案内を総合的にを行い、国内外からの来訪者が気軽に回遊し、岡崎地域の魅力を享受できる環境づくりを進める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
京都市美術館の入館者数	人	有料入館者数と無料入館者数の合計	京都市美術館の入館者(H21~H25平均)を基準に1.5倍の増加を目標とする。	96.1万人	H21~25平均	144.1万人 H31
京都市美術館敷地(無料ゾーン)を利用したイベント参加者数	人	京都美術館敷地(無料ゾーン)を利用したイベント参加者数	平成26年度実績を基準に2倍の増加を目標とする。	1,200人	H26	2,400人 H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・文化・交流拠点としての機能強化 ○京都市美術館の再整備を通じた地域交流を促進し、岡崎地域の文化による交流拠点として機能を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高質空間形成施設【基幹事業】 <ul style="list-style-type: none"> スロープ広場・疏水広場・屋上庭園 ●高次都市施設【基幹事業】 <ul style="list-style-type: none"> 多目的スペース(新館 講演室, ギャラリー, 多目的スペース, 情報コーナー) ●既存建造物活用事業【基幹事業】 <ul style="list-style-type: none"> 多目的室(本館 2階西広間)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

京都岡崎地区(第2期)(京都府京都市)

面積

34 ha

区域

岡崎最勝寺町及び岡崎成勝寺町(琵琶湖疏水西側の道路以東)、岡崎西天王町及び岡崎入江町並びに聖護院円頓美町(いずれも京都市武道センター及び平安神宮敷地)、岡崎法勝寺町及び南禅寺草川町(京都市動物園敷地)、岡崎円勝寺町(仁王門通以北)

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



